

◇新学習指導要領第4章目標  
 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを旨とする

◇長浜市教育行政の重点施策  
 豊かな自然・歴史・文化・産業・地域コミュニティなどの様々な地域資源を生かした教育活動や地域に即した防災教育などを推進し、郷土に対する誇りと郷土愛を育みます。また、各教科をはじめ、特別活動、総合的な学習の時間において、自ら「ひと、こと、もの」に働きかける体験活動を推進し、子どもたちの生きる力を培います。

各教科との関連	
国語	発達段階に応じて適切に言語活動を設定し、自分の考えを形成する。調べたこと等を適切に表現し、自分の考えを分かりやすく伝える。
社会	調べ学習などを行い、資料を適切に選択し、様々な情報から課題に適したまとめをする。
算数 学数	事象に対する数学的な見方や考え方を身に付け、数理的に考察し、理論的に説明する。
理生 科活	観察、実験等の体験から、問題を発見し、問題を解決するための方法を見出す。
英語	文化の違いを考える基礎とし、コミュニケーション能力を身に付けて、自己主張に役立てる。
音楽	感動する心を大切に、演奏などの活動を表現する手段として活用する。
美術 術工	発想を大切に、絵画や造形活動を表現する手段として活用する。
家庭 技術	身近な生活に問題を見出し、よりよく解決し、成果を今後の生活に生かす。
体育 保健	健康増進と体力の向上を図り、健全な生き方について考える。
道徳 特別の 教科	C主として集団や社会との関わり郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度、社会参画・公共の精神、などと関連づける

本校の教育目標  
**余呉に学び 大きな心で 未来を生きぬく**  
 ~しなやかに そして たくましく~

教育の重点目標

- 1 余呉のよさや課題に気づく学習**  
 →余呉の自然、文化、歴史、くらし、産業に関わり、自ら課題を見つけ主体的に、考える力を身につける。
- 2 余呉の魅力や課題を学び、まとめ、伝える学習**  
 →体験や調査活動を通して、課題を追究し、解決する資質や能力を身につける。  
 →調べたことをまとめ、伝えることを通して、表現力や思考力をつける。
- 3 地域の方々など様々な人に学ぶ学習**  
 →様々な考え方、人の生き方に触れ、自己の生き方や将来について考える。  
 →様々な学習を通して、積極的に社会に参画しようとする意欲を育てる

◆学園生の実態  
 ・まじめで礼儀正しいが、将来の夢をもつ学園生がやや少ない。  
 ・人間関係が固定化されがちで、自己主張することが苦手な学園生が多い。  
 ◆教師・保護者の願い  
 ・一人ひとりの良さを自覚して、自信をもって新たな世界に踏み出せるように、広い視野と困難に負けないたくましさをも身につけてほしい。  
 ◆地域の実態と課題  
 ・本校は、豊かな自然環境や歴史伝統文化に恵まれている。  
 ・地域の人は、学校教育に関心が高く、協力的で、子どもの健全育成に熱心である。

儀式的行事における「よごふるさと科」教育  
 第一ステージ「夢の式」  
 ・自立に向けて自分を振り返る  
 第二ステージ「立志式」  
 ・将来の展望をもち自立する  
 第三ステージ「卒業式」  
 ・進路の実現と旅立ち

各ステージの重点目標		
第一ステージ	第二ステージ	第三ステージ
余呉を知る、余呉から学ぶ 1年生 … 余呉の自然 余呉の昔話 2年生 … 余呉探検 3年生 … 余呉の伝統文化 余呉で働く人々 4年生 … 余呉の伝統行事 余呉の自然環境 *「余呉千年物語」 演劇(表現活動)	余呉を調べる、余呉から考える 5年生 … 余呉の産業 福祉体験 6年生 … 余呉の歴史 ボランティア ガイド体験 7年生 … 余呉観光PR 動画づくり *プレゼンテーションづくり 動画制作技能の習得	余呉を変える、余呉から発信する 8年生 … 余呉を楽しむ プロジェクト (課題選択・調査・実践・まとめ・発信) 9年生 … 8年生に同じ *中間発表会 *地域への提言発表

特別活動との関連	
学活	学級の望ましい人間関係を基盤とし、自分たちの問題をより高い価値観で判断し、解決していこうとする。
学園生生活活動	よりよい学校生活を送ろうとする意欲を高め、自発的な実践を通して、自主性と豊かな社会性を育成し、連帯感を高め、他に貢献する。
クラブ活動	望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラスづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を身に付ける。
学校行事	諸行事へ積極的に参加することを通して、集団の一員としての自覚を深め、よりよい生活を築こうとする実践的態度を身に付ける。

よごふるさと科の指導方針

- ① 児童生徒の興味関心に基づき、主体性を大切にする
- ② 言語能力、情報活用能力などすべての学習の基盤となる資質・能力を育成する
- ③ 他者と協働して課題を解決する学習活動や、言語により分析し、まとめて表現する学習活動を行う。(比較・分類・関連付けるなど考えるための技法を活用)
- ④ 自然体験や職場体験、ボランティア活動、生産活動、調査活動を取り入れる
- ⑤ 地域の人々の協力を得ながら、全教師が一体となって指導にあたる

ICT環境の整備  
 ・調べ学習を行う際にインターネットを利用できる環境や、それを利用できる端末を整備する。また、図書館の本を利用できる環境を整える。  
 ・学習成果物や調査結果を、情報処理端末を用いて発表・発信できるようにする。

生活全般における指導  
 ・日常生活においても、児童生徒の気づきつづやきを取り上げ、課題意識や探究心を育てる。  
 ・周囲の人々への関わりや感謝の心を育てるとともに、人の役に立つ体験を重視する。

特色ある教育活動や体験活動  
 ・野苺採集(5~7年)  
 ・わかさぎ釣り(8年)  
 ・余呉湖健康マラソンへの参加  
 ボランティア活動(全学年)  
 ・環境ボランティア(全学年)

他の学校や教育機関との連携  
 他の義務教育学校と取組について交流し、本校で活用できる内容を取り入れたたり、本校の取組を伝えたりする。

家庭・地域社会との連携  
 地域の人材や地域施設を活用し、地域での体験活動や調査活動などを行う。また、学習成果物や調査結果などを、地域や社会に発表・発信する。